

特集

上越妙高・花紀行
魅了する
花々

笹ヶ峰へ

夢見平

種類が多い山野草を
森林浴しながら楽しむ

春、雪解けとともに、湿原にミズバショウが咲き出す。続いて、カタクリ、キクザキイチゲ、リュウキンカ、シヨウジョウバカマ、イワカガミなど、山野草好きには堪らない花々が、そこかしこに咲いていく。6月になるとズミ、シヨウキラン、ギンリョウソウ、夏になればウメバチソウ、ソバナ、トリアシシヨウマなど、たくさん種類の花を見ることが出来る。初めて訪れる人は、一様に感激するという。

この花の楽園のような場所は、笹ヶ峰の夢見平遊歩道。1991(平成3)年、道すらなかったこの地に遊歩道を整備したが、築田昇さんを中心とした「夢見平遊歩道を守る会」である。妙高高原町(当時)

夢見平を彩る花々のほんの一部



カタクリ



キクザキイチゲ



ニリンソウ

から委託を受け、笹ヶ峰高原の乙見湖休憩舎のところで食堂を営んでいた築田さんは、山の恵みを訪れる人に楽しんでもらおうと山菜採りに神道山へ分け入った。突然開けたところに出ると、三田原山を背景に一面ミズバショウが群生。「夢を見ているのでは」と思えるほどの絶景で、後に築田さんが「夢見平」と名づけた。

笹ヶ峰に登山口がある火打山も花の山として知られるが、起伏があつて登れない人も多い。夢見平なら、最初こそ116段の階段があるものの、上つてしまえば後は起伏が少ない。ここへそうした皆さんを連れてくれば喜んでもらえるに違いないと、築田さんは遊歩道の整備を決断。折しも森林浴など、自然の中で健康になろうという気運が高まっていた時期である。上越森林管理署も協力してくれることにな

彩りあふれる
花の宝庫

季節の移ろいとともに、次々と多彩な花を咲かせる夢見平。遊歩道沿いで屈んだり、樹木を見上げたり、訪れるたびに違う花に出会える、まさに花の宝庫だ。



夢見平ミズバショウ

シラネアオイ



り、コース設定を引き受けてくれた。築田さんは夢見平遊歩道を守る会の会員らとともに、3年ほどかけて4kmの2時間コースを整備。さらに、じっくりと歩ける8kmの4時間コースも整備した。

雪解けとともに訪れる 人々のために遊歩道を整備

「夢見平遊歩道では、花や木、野鳥などをゆっくり楽しむに限ります。奥の小高いところに六美展望台がありますが、ここは眺めがよく、皆さんここでごはんを食べたりしていますよ」と、築田さん。夢見平遊歩道の魅力は、花や木々の多彩さだ。花好きなら名前を聞いただけで気持ちがいいことだろう。花の種類数は、尾瀬よりも多いとか。時期によって違う花が咲くので、何度も足を運ぶファンも多い。花に夢中になって案内看板を見落とし、目的地にたどり着けない人もいるので歩く際は気をつけたい。

貴重な山野草が数多く見られるのが魅力だが、盗掘被害も後を絶たず、守る

夢を見ているのではと思えるほど 一面に広がる花の楽園

会では監視活動が続いている。また、訪れる人たちの靴裏などから種が持ち込まれる外来種の駆除も欠かせない。

雪の多い笹ヶ峰だが、残雪のあるうちから花好きの人たちは待ちきれないらしい。夢見平遊歩道を守る会では、5月の連休明けから歩けるよう、遊歩道の整備に入る。雪の重みで木の枝が折れて遊歩道を塞いでいることもあり、撤去は重労働だ。

また橋が多いことから、橋の上の雪も落として



リュウキンカ



ショウジョウバカマ



ズミ



夢見平遊歩道を守る会 会長
築田 昇さん
☎夢見平遊歩道を守る会
☎090-2443-8439(築田)



夢見平遊歩道の整備の様子。守る会によって、完成後も定期的にメンテナンスされている。

いく。これもすべて、安全に花を楽しんでもらうために行われる。夢のような花の景観と森林浴をのんびり楽しみ、妙高高原の多彩な温泉で疲れを癒す。妙高の旅の満足度が一層高まるのは間違いない。

アクセス
妙高高原駅から車で約50分

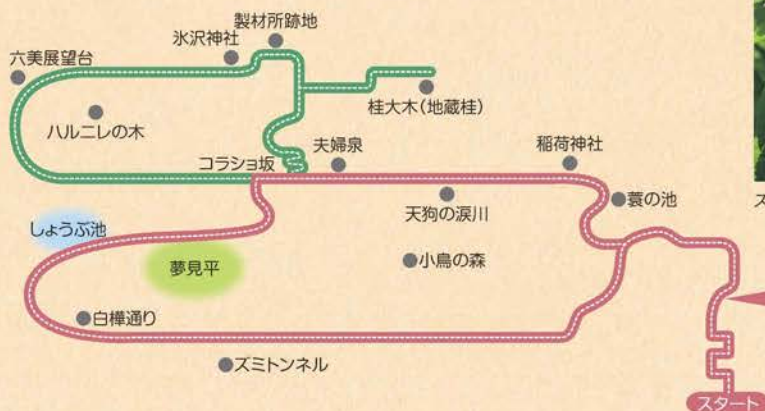
笹ヶ峰直行バス
7月1日(土)～10月29日(日)

妙高高原駅
妙高温泉
池の平いもり池
杉野沢温泉
笹ヶ峰

料片道:大人1,000円、
子ども500円
※笹ヶ峰までの道路は、例年4月下旬ごろ除雪をして開通します。

夢見平遊歩道MAP

約2時間コース
約4時間コース



2時間コースを3時間かけて、
写真を撮りながらじっくり歩く
人も多いという。